

# 1月定例記者会見 会見録

令和4年（2022年）1月5日（水） 11:00～12:00 庁議室

## 質疑応答

### ■ AIオンデマンド乗合タクシーサービスの実証実験について

#### 記者A

予算は全額、国からの補助を使っているのか伺います。

#### 政策イノベーション部長

国からの予算が大体半額程度で、残りはスマートシティ協議会の会員の中で、今回、主要な役割を担うKDDI、つくば市、茨城県が残りの半額程度を負担するものになっています。

#### 記者A

AIのオンデマンド乗合タクシーというのは、考え方としてはすごく正しいと言われていますが、なかなか地域に定着しないという面もあると思います。まだ実験が始まっていない段階で何とも言いようがないと思うのですが、市長としては、そのあたりをどのように考えていらっしゃるのか伺います。

#### 市長

今おっしゃられたように、定着をしないところの壁が何かというのを検証するところも、今回の大きなテーマだと思っています。

サービスを利用するには、アプリをスマートフォンにインストールしていただくことが必要になるわけで、その部分をどの程度サポートできるかということが非常に重要です。もし、ご本人が難しければ、家族のスマートフォンでも利用できるようにします。そういった部分をどう埋めていけるかということが、これからの大きな課題だと思っています。そういった様々な課題があるということ認識した上で、取り組んでいきたいと思っています。

#### 記者B

赤塚から若葉まで対象エリアがありますが、こういった基準でこの地区を選択したのか伺います。

## 市長

今回のエリア設定は、スーパーサイエンスシティ構想の中での優先エリアの小田地区と宝陽台地区を起点して、各病院までの間の地区を選択しました。

## 記者B

つくば駅に近い東新井や学園地区を省いて、要するにアクセスがあまり良くないところから医療機関へ、ということで地区設定したのか伺います。

## 市長

アクセスが悪いというか、先ほど申し上げたスーパーサイエンスシティ構想の中の優先エリアを起点にしています。スーパーサイエンスシティは中心地区だけではなく、周辺地区でこそ恩恵を感じて欲しいので、その2つのエリアが優先エリアになっています。結果として、中心市街地ではないところになってはいますが、わざとアクセスが悪いところを選んだわけではありません。

## 記者B

非常に面白い取り組みだと思った反面、実際に病院を使われる高齢者の方は、スマホを使えるのかなというのが一つ疑問としてあります。それは実証実験に向けての課題の一つになっていると思いますが、そのあたりの支援は何か考えているか伺います。

## 市長

これまでも、スマホの使い方の教室などを小田地区と宝陽台地区で、それぞれ複数回行ってまして、参加者の皆さんからは非常に好評でした。

一方で、「1回ではなかなかわからないよ」というような声もありましたので、どうやって継続していくかということと、地域の中で教えられる人をどう育てていくのかということについては、サポートが必要だと思えます。「スマホアドバイザー」という形でスーパーサイエンスシティ構想の中にも書いていますが、いきなり急に全部できるようになるとは思っていません。粘り強く、繰り返し、皆さんのサポートをすることで、こういったものが馴染んでくるといいなと思っています。ただ、当然、そこに行き着くまでは、結構ハードルが高いという意識は持っています。

## 政策イノベーション部長

スマホ教室は今年度、それぞれの地域で計4回ずつ行う予定ですが、それ以外の地域にも展開していきたいと考えています。あとは例えば、それぞれの地域だけではなく

て、市庁舎や出先機関のようなところにお越しいただいたときに、サポートできるような体制というのをも併せて検討していきたいと考えています。

また、地域で高齢の方でも、スマホを使いこなせる方はいらっしゃるので、そういった方にスマホアドバイザーとしてお願いすることや、市長が申し上げたとおりですが、筑波大の学生さんでも、特に高齢者支援、福祉関係に関心を持たれている方がたくさんいらっしゃるからお聞きしていますので、そういった連携をしながら、地域でスマホを使いこなせる方々が増えるような支援体制の構築をしていきたいと考えています。

## **記者C**

今回乗り合いでサービスをするということで、つくバスとの違いというか、今回タクシーの乗り合いをすることについて意味合いがどういうところにあるのか伺います。

## **市長**

公共交通については、様々な形で整備をしていく努力をしています。つくバスのカバーエリアというのは、バス停の500メートル圏域とか300メートル圏域でのカバー率を基準にしていますけれども、それでもなかなか高齢者の皆様からすると、遠いというようなお声もあります。当然すべてがその圏域でカバーできているわけではありませんので、今回のように、自宅から病院まで直接というような形になれば、移動のあり方として、より使いやすいものになっていくだろうと思いますし、バス停で長い時間待たずに済みます。そういった点に加えて、どの程度になるかわかりませんが、乗り合いにしていくことで、コスト面においても少しでも制御していくことができるのではないかという期待値はあります。

## **記者C**

実際に乗り合いタクシーを運営するのはどこになるのか伺います。

## **政策イノベーション部長**

市内のタクシー事業者になります。事業者のタクシー2台、この期間中借りまして、そこが運行します。

## **スマートシティ戦略室長**

具体的な事業者名については、ここでは伏せさせていただきます。

## 記者C

A Iを使うのは、複数の人が乗りあったときに、どのルートで行くと一番早いのかというルート検索の部分に使うのか伺います。

## 政策イノベーション部長

はい、おっしゃるとおりです。

## 記者D

A Iを活用する場合としない場合で、メリット、デメリット、こういったものがあるのか伺います。

## 政策イノベーション部長

A Iを活用する場合には、ルートの最適な経路検索を含めて、例えばこういった方がどのタイミングで依頼をされたかということに応じて、その目的先別で、最適なルート、配車のタイミングを検討するということがA Iで可能になります。A Iを使わない場合には、当然人の手でやることになります。ある意味タクシーの運転手の方が直感的に「このルートがこの時間だと良い」みたいなことをやられて、これも有効な場合があるとは思いますが、マニュアルで例えば、この人のピックアップを先にするのか、それとも別の方のピックアップを先にするのかというところで、ある程度恣意的な判断が入ってくると思いますし、交通状況等によっては、最適なルートピックアップの順番にならない場合があると思います。その点、A Iでは瞬時に最適なピックアップを含めた経路が特定できるということが最大の利点であると考えています。また、人の手間というところも非常に大きいと思っていて、特にいろいろなタクシー事業者さんからお話を聞いていますが、今慢性的な人手不足だと聞いています。そういったところでルートを決めるということだけでも、人の手がまたかかるということだと、その分、タクシーの効率的な運用に繋がっていきませんので、その点でも大きな利点があると考えています。

## 記者D

特にデメリットを見込むものはないか伺います。

## 政策イノベーション部長

これは実際に使ってみて、どれぐらいの方が利用されるかによるかもしれませんが、例えば類似のオンデマンド型の配車のサービスですと、つくタクがあります。これで

すと、お電話でご連絡をいただいて、その時にどれぐらい待つとか、この時間は使えませんとか、電話での応対というものが可能だと思いますが、その点、アプリを使うところで、例えば待ち時間が結構かかってしまったときに、その問い合わせが電話と違って気軽にできないというところで、もしかするとデメリットがあるかもしれません。

これは完全に需給のバランスだと思いますので、利用者の方が多ければ多いほど、我々、実証実験を行う立場としては嬉しいですけれども、今回2台限定で配置されますので、その点少し待ち時間という観点でご迷惑をおかけしつつ、また、問い合わせのところで少し混乱が生じる可能性というのは、事前に予測しています。

## 記者D

2台ということで、1日の利用上限やモニターの参加者といった数字の見込みがありましたら伺います。

## 政策イノベーション部長

今数は出していないですけれども、待ち時間に関しては、ある程度エリアが限られているので、他の方が利用中であっても、例えば15分から20分ぐらいの待ち時間で利用できるのではないかと推測しています。それで推測すると、例えば1回当たり余裕を持って30分とした時に、それが7時間で14、それが2台分なので28運行、それが組み合わせになって今回MAX3人までの乗り合い可能になりますので、80とかそれぐらいの数が上限になるのではないかと思います。

## 記者D

全国で同様の実証実験している自治体はどれぐらいになるか伺います。

## スマートシティ戦略室長

導入事例については、全国他の地域で行っているという情報は把握していません。

## 記者D

これは、全国で初めての実証実験になるのですか。

## スマートシティ戦略室長

おそらく初めてではないと思いますが、具体的にどこで、こういったことを実施しているかというところまでは承知していない状況です。

**記者D**

珍しいのは間違いないということでしょうか。

**スマートシティ戦略室長**

はい。国交省に採択されていますので、スマートシティの事例としては、比較的先進性があるのかと考えています。

**記者A**

幹事からのお願いですが、病院の送迎タクシーで事業者の名前が明らかにできずにおっしゃいましたが、多分写真を撮りに行く社もありますので、記者にタクシー会社の名前を後で教えてください。

**スマートシティ戦略室長**

その辺については、参画する事業者等と協議して対応させていただきたいと思います。

**■令和4年つくば市成人の集いの開催について****記者A**

都度4回開催しますが、市長は4回とも出席される予定でしょうか。

**市長**

はい。私は4回とも出席する予定です。

**記者B**

2日間で、中学校ごとに分けて実施するということですが、コロナ前はこういった形で実施していたのか伺います。

**市長**

コロナ前は1回だけでした。

**記者B**

コロナ後にこういった対応に変えたのでしょうか。

**市長**

コロナ後というか、去年は中止でした。一昨年は1月でぎりぎり実施できました。

コロナ後では今回が初めての実施です。

## 記者 E

4回に分けて実施されるということですが、コロナ対策として、これ以外に何か工夫されたことがありましたら伺います。

また、つくば市の成人式、数年前にちょっと荒れてしまったことがありましたが、そのあと、ゲートのブロックを設けて、厳重な検査を行うなど、そういう事例もあったかと思いますが、今回もされるのかどうか伺います。

## 市長

対策としては、まず発熱等がある方は出席を見合わせていただくなどの対応などが記された、市の成人の集いにおける感染症対策ガイドラインを読んでいただくようお願いいたします。

また、受付では、参加者全員の住所・氏名・電話番号の把握、いばらきアマビエちゃんの登録、体温測定を行います。

このほかに、「入場目安時間」を学校別に示し、入場のピークを分散させるようにします。その他、参加者全員に配布するしおりでは、マナーを守った会食の実施などを呼び掛けています。

警備については、参加者が県内最多であるため、令和元年度と同様に手荷物検査等を実施します。安全に参加していただけるよう警察の皆さんにも大変ご協力をいただきますが、現在、相談しながら警備も含めて準備をしています。

また、会場周辺道路も式典中は通行止めを行う予定です。

## 記者 E

素朴な疑問として、手荷物検査というのは、ちょっとコロナ対策からするとそぐわない気がするのですが、そのあたりはどうでしょうか。

## 市長

コロナ対策としてそぐわないというのは、人の荷物を触ることについてでしょうか。それぞれスタッフは当然消毒をしますし、入場者も消毒をします。

また、密にならないように、時間をずらして行くよう呼びかけていますので、そういったところは大丈夫かと思えます。

## ■農業委員の贈賄事件について

### 記者B

年末につくば市の農業委員の方が、農業委員会の会長選挙に絡んで特定の候補者の方を当選させるという趣旨で、贈賄申し込み容疑で略式命令を受けましたが、これを受けて市として対応を考えていらっしゃるか伺います。

### 市長

これはあってはならないことですので、まず、警察の捜査に協力することは当然ですが、捜査に関わることのお答えは控えさせていただきます。併せて関係者への事実確認を含めて調査をしまして、法令等に基づいて、どういう処分をするかというようなことを検討していくことになります。

### 記者B

捜査はもう略式命令が出ているので、解決していると思いますが、こうした事件が起きた背景というのは、市当局としてはどのように分析されているのか伺います。

### 市長

当然詳細を調査しないと、今回の背景というのを申し上げることはできませんので、そういったことも含めて、聞き取りをきちんとしていく必要があると考えています。

### 記者B

担当課の方で結構ですが、例えば、略式命令を受けた農業委員の方が、年が明けて「やっぱり、ちょっともうこれ以上委員をやっているのはきついので辞める」とか、辞任の申し出があるのかどうか、また、臨時的な委員会や総会を開催するとか、そういう予定はあるか伺います。

### 農業委員会事務局

辞任の申し出は今のところございません。

農業委員会事務局としましては、再発防止のために、委員全員を対象とした研修等を現在検討しています。

### 記者B

特に何か臨時的に総会を開いて対応を協議するなどはないのでしょうか。



## **農業委員会事務局**

今のところはございません。

## **記者F**

農業委員会の事務局の方から辞任の申し出はないというお言葉がありましたが、反対に、続けるということもおっしゃっているのか伺います。

## **農業委員会事務局**

本人に聞き取り調査を行っていますが、今のところ辞任の申し出がないということだけです。続けるとも続けないとも言われていません。

## **記者F**

市長に伺います。

法令に基づいて処分を検討するという言葉がありましたけれども、関係法令においては、首長は議会同意を得て、農業委員を罷免することも可能であるという情報がありますが、そういうことを踏まえておっしゃっているのでしょうか。

## **市長**

はい。現時点では、まだ本人の意向がわかりませんが、当然法令上はそういう形になっていますので、聞き取りを踏まえて、そういったことを確認しながら進めていくと思います。

## **終了**